

< 介護・医療連携推進会議における評価 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	社会福祉法人 長岡福祉協会	事業所名	こぶし 24 時間ケアサービスステーション三和
所在地	(〒 940 - 1151) 新潟県長岡市三和3丁目138番地2		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

24 時間 365 日営業。必要な人に必要なサービスを提供し、その人の築き上げた暮らしを支えていく。
情報共有にはタブレットを使用し、多職種連携にも活用している。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2020年 10月 1日	従業者等自己評価 実施人数	(7) 人	※管理者を含む
----------------	-----------------	------------------	---------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2020年 10月 25日	出席人数 (合計)	(14) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	<input type="checkbox"/> 自事業所職員 (2人) <input type="checkbox"/> 市町村職員 (1人) <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 (1人) <input type="checkbox"/> 地域住民の代表者 (1人) <input type="checkbox"/> 利用者 (1人) <input type="checkbox"/> 利用者の家族 (1人) <input type="checkbox"/> 知見を有する者 (3人) <input type="checkbox"/> その他 (4人)			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	(令和3年度に向けて) 前回の改善計画	(令和2年度) 実施した具体的な取組	(令和2年度) 進捗評価	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1~10)	<ul style="list-style-type: none"> ・個別計画に沿って出来るだけ外部研修に参加できる様にする。 ・個々の情報共有の他に個々のカンファレンスが行える様に計画的に実行できるようにする。 ・センター内で行っている災害等の避難訓練の際は、参加した事のない職員に参加してもらい、設備の等の確認をしてもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・住み慣れた地域での生活を支える為、質の良いヘルパー選ばれる事業所になる様に、研修に参加、個々に目標研修計画を立て、日々の援助に取り組んだ。 ・避難訓練の際は、全員が参加出来る様に組み込んだ。 ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の目標、研修計画を考えながら、日々の援助を行った。 ・同行訪問を行い、統一したケアに努めた。 コロナ感染もあり、カンファレンスが行えなかった。 ・センター避難訓練に参加してもらい、設備の確認を行った。 	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11~21)	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時の対応の確認、見直しを行い、迅速に適切な対応が出来る様にする。 ・定期的に、援助内容の見直しをし職員間で差が出ないよう又、統一した援助が行える様にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・その人らしく生活が継続できるようにケアプランに沿って介護計画書を作成した。 ・体調の変化、特変時にはすぐにケアマネ等に連絡をし対応する様にした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティング時に援助の確認を行った。 ・タブレットを活用し、情報共有ができ、他のサービスの様子が分かり、また看護と連携ができるようになった。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 22~27)	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年同様に状態の変化時には、看護へ連絡、タブレットを活用して連携を図っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットを活用し、他事業所との連携を図った。 ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネともタブレットで、連携が図れており日々の様子も伝わりやすくなった。 ・多職種で定期随時の理解をもっと深め、またタブレットの有効な使い方を検討していく。

	<p>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 28~32)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・開設してからは、説明会など行えず、今後定期的に地域の方など説明会を行い、理解を深めて行きたい。 ・地域の行事なども参加し、関係性を築いていきたい。 		<ul style="list-style-type: none"> ・開設してからは、説明会など行えず、またコロナ感染症が流行した為制限がかなり出来なかった。
<p>Ⅲ. 結果評価 (評価項目 33~34)</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・各サービスとの連携を大切に今後も、ご利用者が住み慣れた地域でご自宅で生活ができる様に支援させて頂く。 ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・一日複数回訪問させて頂いてる利用者が多いので、タブレットで申し送りを行い、細かい援助を行う様にした。 ・質の良いヘルパー、援助を目指し、各研修への参加、サービス提供責任者と同行援助を行い、統一したケアに努めた。 ・ご利用者、ご家族の満足度調査を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・状態に合わせて随時訪問を行い、対応している。 ・特に夜間帯はヘルパー一人で訪問しており、コールなどの呼び出しにすぐに対応する事が難しい事もある。 ・

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・介護・医療連携推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	(令和2年度) 評価結果	(令和3年度に向けて) 改善計画	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1~10)	<ul style="list-style-type: none"> ・個別計画にそって各々進める事はできていたと思う。 ・年間事業計画書は計画通りに行かない事が多かった。地域交流、啓蒙活動を上げていたが、時間的余裕や機会を設ける事ができなかった。 ・個々の情報共有はタブレット内で出来ているが個々のカンファレンスが出来なかった。 ・災害時等の避難訓練をセンター内で行っているが職員全員が設備などしっかりと把握する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別研修は来年度も各自、目標を持って進めて行くように計画を立ててもらい、コロナ過でもリモート化での研修が見られるようになったので参加できるように取り組む。 ・個々のカンファレンスを毎月行うように計画に入れて行く。 ・災害時の避難訓練の参加、設備の確認、災害時のマニュアルの見直しを行う。 	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11~21)	<ul style="list-style-type: none"> ・変化に応じた急な受診、体調不良時には随時訪問で対応出来た。体調不良時などは看護に連絡を入れ対応した。 ・職員間で差が出ないよう援助内容の見直しを随時行う事が出来なかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に(毎月の事業所カンファレンス時に)援助内容の見直しを行い、統一したケア、より良いサービスに繋げる。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 22~27)	<ul style="list-style-type: none"> ・フェニックスネットでの連携で情報共有が出来ている。早急に対応が必要な時、細かい情報は連絡を入れるようにした。 ・他の事業所や訪問看護より、タブレットのコメントなどを通じて連携を取った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度もフェニックスネット等を通じしっかりと情報提供を行っていく。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 28~32)	<ul style="list-style-type: none"> ・啓蒙活動などを目標に課題に上げていたが、時間的に余裕がなくてできなかった。啓蒙活動だけでなく、地域行事の参加などできればよかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ過で活動の制限があるが、地域に根付いたサービスになるよう工夫が必要。パンフレット等を活用して出来る事を行って行く。
III. 結果評価 (評価項目 33~34)	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者、家族の方に、一日に何回も来てもらったり緊急時にも訪問してもらえてよかった、とお言葉を頂いた。これからも、ご利用者、家族が望む生活が維持出来るように、より良い 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者、ご家族から感謝の言葉を頂いた。個人のスキルアップに努め求められる選ばれるサービスになる様に事業所として取り組んでいく。 	

	サービスの提供に努める。	
--	--------------	--

※自己評価・介護・医療連携推進会議における評価の総括を記載します